

平成19年度 学術ポータル担当者研修レポート

室蘭工業大学附属図書館

1-1 小林 誠

1-2 津川 貴裕

(1) 発表資料の状況と設定

理系の先生方にコンテンツ提供を求めるためのプレゼンテーションである。先の教授会において機関リポジトリについて説明がなされ、機関リポジトリの概要自体はある程度把握されているものである。

機関リポジトリの概要のおさらい、そのねらい、図書館からお願いしたいことを説明する。

(2) 発表内容抄録

室蘭工業大学学術資源アーカイブは誰でも無料で簡単に本学の研究成果にアクセスできるようにさせるものである。本学学術資源アーカイブに研究成果を残し、見せることにより研究成果を有効的活用につなげられる。先生方には論文の提供・共著者への承諾確認をお願いしたい。

講師擬似質問

Q 共著者死亡・音信不通の場合は？

A 可能な限り承諾を得たい

Q 論文を提供しても著作権などの問題のためアーカイブに載せられないことがあるようだが、どのくらいの数の論文がそういうケースに該当するのだろうか？

A (しどろもどろで曖昧な回答)

講師助言

- ・あいまいな回答よりは回答を先延ばしにするのもよい。
→工学系は権利関係がわりと明確だから比較的調べやすい。
- ・先生によって事情が違うので個別に対応したほうがよい。
- ・権利関係のパターンを例示してみてはどうか？
- ・著作権が出版者にある場合、法的には共著者の同意は不必要。ただし倫理的には問題になりうるのとる必要がある。

発表との改訂部分

リハプレゼンではこのプレゼンと別に係長からの説明・質疑応答があったため、大幅な改訂はせず細かい表現の訂正に留まった。

リハプレゼンの概要

11月6日(火) 数理科学講座会議室にて

対象：数理科学講座教員7名 + 図書館職員1名

発表者：津川貴裕 (別途説明・・・学術情報係長)

リハプレゼンの反響

今回のプレゼンに対する反響は、こちらから積極的に取ることが出来ず、特に得られなかった。

その他

余裕を持った話し方ができず、終始本文の読み上げるだけとなっていた。

目線の出し方や、場の雰囲気作りなど改善点は多々。